

## ベルリンにおける「プロレタリア建築展」(1931 年)の概要について

## 滞独時代の山口文象の活動に関する研究 1

## On the Outline of Proletarische Bauausstellung in Berlin in 1931

## Studies on Bunzo Yamaguchi's activities during his stay in Germany, Vol. 1

○田所辰之助<sup>1</sup>, 庄司兼悟<sup>2</sup>, 川嶋勝<sup>3</sup>\*Shinnosuke Tadokoro<sup>1</sup>, Kengo Shoji<sup>2</sup>, Masaru Kawashima<sup>3</sup>,

This is to clarify the outline and characteristics of the exhibition “Proletarische Bauausstellung” held in Berlin in 1931. The contents of this exhibition have not been mentioned so far, except the architect Bunzo Yamaguchi's memoirs. This paper tries to analyze the notes written by Yamaguchi during his stay in Berlin and reconstruct the outline and structure of the exhibition. Consequently it is found that the exhibition sought to criticize the capitalistic system to supply the houses, comparing it with the socialistic rationalism.

## 1. はじめに

山口文象が滞独時代、ベルリンでその企画に関わったとされる「プロレタリア建築展 (Proletarische Bauausstellung)」（1931 年）については、山口による若干の回想と数点の会場写真が残されているのみで<sup>1)</sup>、詳細はこれまで明らかになっていない。山口の滞独時代の活動は手書きのノートに独語で記録されており<sup>2)</sup>、その内容をもとに本稿ではプロレタリア建築展の概要について、その再構成を試みたい。

## 2. プロレタリア建築展の概要について

プロレタリア建築展の主催は共産党ベルリン支部の若手建築家と山口は回想しているが、ノートには「社会主義的建設のための共同体 (Kollektiv für sozialistisches Bauens)」と記されている。ベルリン、ノイケルンの廃校になった小学校を会場に開催された。山口が「画のない展覧会」と記しているように<sup>3)</sup>、パネル展示を主としたものであったことが会場写真からもうかがえる。山口はこのパネルの内容をノートに書き写して、表 1) はノートの記載内容をパネル番号順に整理したものである。各パネルのタイトルと思われる箇所を抜粋し、原文と邦訳を対照させている。全体はおよそ 6 つのパートより構成されている。以下、概要について述べたい。

## 1) No. 1~7 : 公共政策への批判

高騰する家賃税の問題を取り上げ、また公共事業に対する国庫支出のアンバランスを告発している。「投機家が家主となり家賃を得て、国家はまたかれらに支出する」(No.3) などと記され、投機家に対する住宅の建設費用への支援などを批判している。一方で、住宅不足の現状を報告し、地下の無窓居室での生活、ベッドの又貸し、建物の老朽化などが指摘される (No.4)。No.5 では、ナチ党 (政権獲得前) に対しその無策を言挙げし、対比的に共産党 (K.P.D.) の政策が説明されている。No.6 および 7 では、国家予算に占める公共事業の割合が示されている。

## 2) No. 8~12 : 資本主義的合理化の矛盾

失業者が 500 万人、月収 100 マルク以下が 2,600 万人という現状が示される (No.8 および 9)。それを踏まえ、資本主義のシステム下では「プロレタリアートは食べていけない」と告発している。また、農業政策の失敗を指摘して「資本主義的合理化は空腹を生み出す」と批判する (No.10)。それに対し、N.11 では「社会主義的合理化」をめぐる、ロシア (ソヴィエト) では「失業者が皆無で、1 日 7 時間、週 5 日の労働と賃金」が実現していることを紹介している。エンゲルスの「劣悪な住宅は資本主義システムの解決し得ない要素である」が引用されている (No.12)。

## 3) No. 13~20 : 人々の生活の窮状

ベルリンにおける人々の生活の窮状がふたたび示される。失業者が瓦礫置き場にあふれ、木箱でつくられたあばら屋に住まい (No.14)、家の中では内職に忙しく (No.15)、馬小屋に大勢のひとが暮らしている (No.17)。裁判官は立ち退きを要求し、住所不定者のための保護施設への入居を求めるが、それは空室のままである (No.18)。劣悪な住環境が世界に広がっている (No.20)。

## 4) No. 21 : 要求

「われわれは要求する」として、つぎの事項が挙示されている。家主からの没収/住宅と建設地の公有化/家賃は維持費および諸経費分のみとすること/借家人の保護/立ち退きの場合、代替の空間の承認、等。

## 5) No. 22~25 : ロシアの第一次 5 カ年計画

ロシアにおいても都市への人口流入により住宅難が生じているが、第一次 5 カ年計画にもとづき 1928-33 年の間に 6 倍の住宅建設量が見込まれている (No.22)。共同住宅 (No.23) における機械化された厨房・食堂、サナトリウムにおける有給休暇、幼稚園、紡績工場 (No.24)、モスクワの競技場 (No.25) が言及される。

## 6) 「都市建築」について

各パネルについてのメモに挿入されるかたちで、ノ

表 1) 「プロレタリア建築展」の展示パネルの構成—山口文象の滞独時代のノートより

ページ番号	パネル番号	タイトル(原文)	タイトル(邦訳)
6	1	Wofür zahlst Du MIETE??	何のためにあなたは支払うのか 家賃??
6	2	Die Mieter zahlen jährlich 2.2 Milliarden hauszinssteuer	間借り人は家賃を支払う 家賃税は年間22億マルクに
7	3	Woher stammt das Baugeld der Hausbesitzer ? 45% vom staat Geliehen Hauszin-hypothek	家主の建設費用はどこからもたらされるのか? 建設費用の45%は家賃を担保に国家から
8	4	Resultat des ganzen Schwindels 1 Million Wohnungen Fehlen	まったくのイカサマの結末 100万戸の住宅不足
9	5	Was taten den anderen Parteien zur lösung der Wohnungsnot ? Die NAZIS Keine anträge in Reichstag	住宅不足の解決に他の政党は何をしたのか? ナチ党は国会でなにも起案しない
10	—	(Stadt Bau) 1) Die Stadtgestalt wird bestimmt durch die Produktionsweise	(都市建築) 1) 都市の形態は生産手段によって決定される
11	6	1930: 3 MILLRD. für Wohnungs Bauten 1 mill davon aus Hauszinssteuer Mieten Darlehn	住宅建設のために1930年には30億マルクが投入された そのうち10億マルクは家賃税、家賃、貸付金から
11	7	von 45 Mill. Produktion und 9 Mill Accumulation 6 MILLARDEN Bauproduktion	生産部門に450億マルク、積み立てに90億マルク 建設部門に60億マルク
12	8	EXMITTIERT AUF DER BODENTREPPE	屋根裏部屋への階段に立ち退かされて
13	9	5 Millionen Erwerbs Lose	500万人の失業者
13	10	Weshalb? Das kapitalistische System kann das Proletariat nicht mehr ernähren.	何故? 資本主義のシステムではプロレタリアートは食べていけない
14	11	Sozialistische Rationalisierung Resultat	社会主義による合理化 その成果
15	12	Das Wohnungselend ist ein unlosbarer Bestandteil des kapitalistischen System	劣悪な住宅は資本主義システムの解決し得ない要素である
15	13	Jeder einmal in Berlin 60.000 Kilerwohnungen in Berlin 113.275 Familien im Untermiete 12-15000 Grosswohnungen im stehen in Berlin leer	いずれもベルリンの状況 60,000戸の住戸が地下室 113,275の家族が又借り 1万2千~5千戸が空室
16	14	vor den Toren Berlin Arbeitslose haben sich schuttabladeplatz	ベルリンの市門の前にて 瓦礫置き場の失業者たち
17	15	Auf dem Lande Die Guts und Werkssiedlung gen eine Wohltat? NEIN ein furchtbares Druckmittel der Herren	農地にて 農場や工場に付属する団地は慈善行為なのか? そうではない、利益を生むための支配者の手段である
18	16	immer heraus aus den alten Wohnungen Die verbesserung und Verschönerung Der stadte	つねに古い住宅から 都市の改良と美化
19	17	Umagoyani 大勢 wohnen 200 Menschen wohnen in einem Pferdestall	馬小屋に大勢住んでいる 一軒の馬小屋に200人が暮らしている
20	18	Exmittiert sagt der Richter denn es gibt ja noch ein Obdachlosenasy!	裁判官は立ち退けと言う なぜならば、住所不定者のための保護施設があるからだ
21	19	es gibt auch Bänke in den Parks ART. 155: jeder Deutschen Familie eine Ihren Bedürfnissen entsprechenden Wohnung	公園にはベンチがある 155条:ドイツのすべての家族に、個々の要求に応じた住居を
21	20	Denn Das Wohnungselend ist International	劣悪なる住宅は世界いたるところ共通である
22	21	Wir fordern entschädigungslose Enteignung der •Hausbesitzer von den kleinen Einfamilienhäusern abgesehen.	われわれは要求する ・戸建て小住宅をのぞく、家主たちからの補償なき没収を
23	22	Russland legt an im Wohnungsbau und sozialen Bau im Fünfjahresplan	ロシアは5カ年計画を策定し、住宅建築と公共建築に投資している
24	23	Kollektivwohnlhaus	共同住宅(コレクティブ・ハウス)
24	24	aus der Union der sozialistische sowjet Republik	ソヴィエト社会主義共和国同盟より
24	25	Moskaues Stadion	モスクワの競技場
25	—	Stadt Bau 2) Die Stadt wächst und verfällt abhängig von dem grossen Histor. wirtschaftsstrom	都市建築2) 都市は成長し、大いなる歴史的、経済的潮流によって衰退する

ートのなかには「都市建築 (Stadt Bau)」と題された記述が2箇所あり、それぞれ1) および2) と番号が付されている。「都市建築 1)」では「都市の形態は生産手段によって決定される」とまず記され、古代、中世、絶対主義、資本主義の4つの時代における都市について略記される。「階級のない社会において、都市は人間の生産と居住形態のなかに現れる」と結ばれている。また「都市建築 2)」では「都市は成長し、大いなる歴史的、経済的潮流によって衰退する」というテーマが示され、エジプトやバビロン、ギリシアにおける文化・文明の発生、ヴェニスやジェノヴァなどの地中海貿易、アメリカの発見と大西洋沿岸諸国の勃興などが概説されている。

### 3. まとめ

以上より、プロレタリア建築展が以下の内容をもつものであることがわかる。まず、ドイツにおける当時の公共事業、住宅政策を批判し、都市生活の現状を強く告発している。また、資本主義と社会主義を対比させ、ロシアにおける第一次5カ年計画の成果を唱導している。さらに、家主からの資産没収、住宅や土地の公有化、借家人の保護などロシアで進められた政策の実現をドイツで要求するものでもあった。同時期にベルリンで開催されていた「ドイツ建築展—われわれの時代の住居」に対抗して企画されたと山口が回想するプロレタリア建築展について<sup>4)</sup>、山口自身のノートに記された内容よりその概要が明らかとなった。

注: 1) RIA 建築総合研究所、近藤正一編『建築家山口文象 人と作品』相模書房、p. 218、1982年。また、山口文象「建築はどうなる」『建築家』1972年夏号、も参照のこと。2) 滞独時代の山口文象のノートは計5冊からなり、うち3冊は雑記帳、また2冊が日々の行動を記録した日誌となっている。これらは現在、株式会社アール・アイ・イーに保管されている。概要については、拙稿「山口文象—『実践』へ—文ちゃんのドイツ日記」『建築文化』55巻639号、pp. 170-173、2000年、を参照されたい。3) 千田是也、駒田知彦、山口文象、栗田勇『建築と演劇』『現代建築家全集11』(栗田勇編)、三一書房、p. 121、1971年4) 注3) と同じ。  
【謝辞】資料閲覧に際しては、株式会社アール・アイ・イーの永澤明彦氏、三浦修氏、村越正明氏(元社員)に大変お世話になりました。ここに記して謝意を表します。